

研究実施における情報公開 (松戸歯学部単独研究)

研究の名称； 薬剤関連顎骨壊死および薬剤関連骨髄炎の画像診断に関する研究（承認番号 EC18-003）

研究機関・講座； 日本大学松戸歯学部・口腔外科学講座

研究責任者； 専任講師・山本 泰

研究期間；平成 30 年 5 月 ～ 平成 35 年 4 月

1. 研究対象者

平成 18 年 4 月から平成 30 年 3 月までの間に薬剤関連顎骨壊死または薬剤関連骨髄炎に罹患し、本付属病院放射線科にて CT または MRI 検査を受けた方

2. 研究目的・意義

骨粗鬆症や悪性腫瘍の骨転移などで投与される薬剤に関連して顎骨壊死（顎の骨が腐る）や骨髄炎（骨の炎症）が生じることがあり、これらは薬剤関連顎骨壊死または薬剤関連骨髄炎と呼ばれています。この病気は難治性であり、画像による診断基準や治療法は確立されていないのが現状です。本研究では薬剤関連顎骨壊死および薬剤関連骨髄炎の画像所見の特徴を解明し、早期診断を目指すことが目的です。

3. 方法

院内電子カルテ端末にて、CT 画像、MRI 画像から骨や骨髄に認められる所見（CT 値や ADC 値の測定など）と診療録情報（年齢・性別・既往歴・投与薬剤など）との関係を統計解析することにより、薬剤関連顎骨壊死および薬剤関連骨髄炎の画像的特徴を検討します。

- ・CT 値：Computed Tomography 値。CT の画像濃度値のこと。水がゼロ、空気が-1000 の値で、空気は黒く表現される。
- ・ADC 値：Apparent Diffusion Coefficient 値。拡散強調像は水分子のブラウン運動の程度を画像化したもので、水分子の拡散の程度を数値化したものが ADC 値という。

4. 研究に利用する試料・情報等

情報：診療録情報（年齢・性別・既往歴・診断名・治療経過・CT 画像・MRI 画像 等）

5. お問い合わせ先

本研究は、倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした情報は匿名化処理を行い安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。研究の詳細をお知りになりたい場合は、下記までお問い合わせください。他の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書等を閲覧することが出来ます。

本研究で得られた成果を専門の学会や学術雑誌に発表する可能性があります。成果を発表する場合には、研究に参加していただいた方のプライバシーに慎重に配慮します。個人を特定できる情報が公表されることはありません。

なお、研究対象者に該当すると思われる方で、ご自身の情報を「この研究で利用して欲しくない」と思われた場合にも、その旨をご連絡下さい。ご了承いただけない場合には研究対象といたしません。また、その場合でもご自身に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ先>

研究責任者：日本大学松戸歯学部・口腔外科学講座・専任講師・山本 泰

電話番号：047 - 360 - 9404